

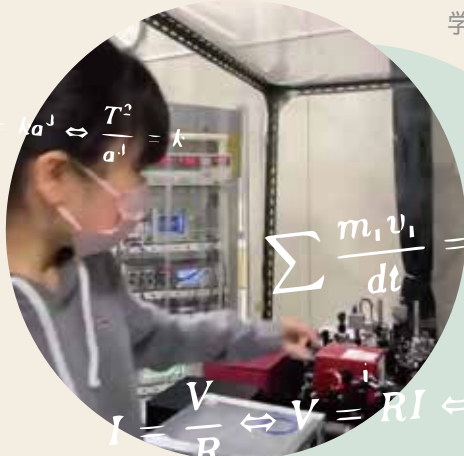


ハイブリッド開催予定

INVITATION
女子
学部学生
院生

やっぱり 物理が好き!

—物理に進んだ女性のキャリア



昨年のオンライン開催の様子

講師

竹内 圭織 「いつもそばに、物理」

パナソニックホールディングス株式会社 テクノロジー本部
マテリアル応用技術センター 主任研究員

清水 志真 「素粒子の世界に戻ってきた！」

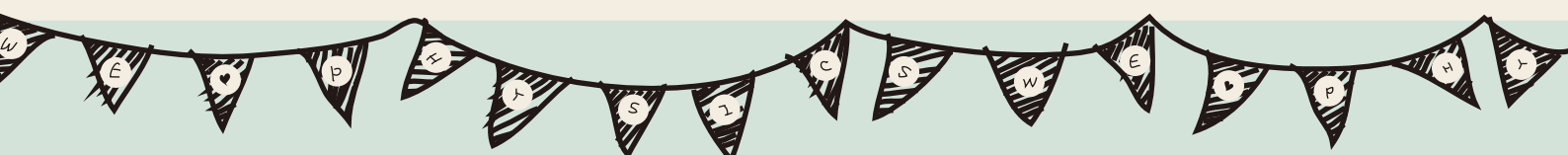
高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 助教

肥山 詠美子 「目に見えないミクロの世界に魅せられて」

東北大学理学部物理学科 教授 / 理化学研究所 材科学部加速器科学センター 室長

大竹 淑恵 「理研小型中性子源システムRANSプロジェクトの設立から今日まで—女性PIだから?—」

理化学研究所 量子工学研究センター 中性子ビーム技術開発チーム チームリーダー /
ニュートロン次世代システム技術研究組合 T-RANS (国交大臣認可) 理事長 /
日本中性子学会 会長



これから物理を学ぼうという女子学部生や物理分野に進学した学部生及び大学院生のみなさんに向けて、様々な講師の方をお招きしキャリアパスをご紹介します。質問会もあり、参加者同士のネットワークをつくり、広く物理学分野(素粒子・原子核、宇宙・天文、物性、物理工学)の魅力を感じていただく稀有な機会となります、奮ってご参加ください。

日時：2023年11月25日(土) 13:00-17:00

会場：ハイブリッド形式での実施(オンサイト会場は Kavli IPMU 棟)

対象：物理を学ぶ女子大生及び大学院生(工学系や天文分野の方も大歓迎)

参加費：無料

定員：30名程度(事前申込制)

後援：東京大学理学部物理学科(申請中)、東京大学男女共同参画室、日本物理学会(申請中)、応用物理学会(申請中)、高エネルギー加速器研究機構、東京農工大学工学部、お茶の水女子大学理学部物理学科、法政大学理工学部創生科学科、総合研究大学院大学

申込：HPよりご応募ください(定員に達し次第締め切り)

<https://www.ipmu.jp/ja/20231125-WomenStudents>

通知：申し込まれた方に開催情報をメールでお知らせします。

問合せ：☎ 04-7136-5977

Email: koukai-kouza@ipmu.jp (Kavli IPMU 広報)



やっぱり物理が好き！—物理に進んだ女子学生・院生のキャリア

2023年11月25日(土) 13:00-17:00

これから物理を学ぼうという学部生や物理分野に進学した学部生及び大学院生のみなさんに向けて、様々な講師の方をお招きしキャリアパスや研究内容をご紹介します。今年はハイブリッド開催いたします。

開会挨拶 13:00-13:05

講演1 13:05-13:25

いつもそばに、物理

モノ作りに携わりたいという気持ちから企業に入社しました。失敗の日々の中で、試行錯誤した電池で高い特性が得られました。達成感で満たされ、「作る」事が好きだと、強みであると自覚しました。実はこの「作る」には物理学が基礎となる材料力学・レオロジーを理解する必要があります。また電気化学も同時に習得してきました。新しい分野を学ぶ時いつもそばに物理があります。私の経験からお話させていただきます。

たけうち かおり
竹内 圭織

パナソニックホールディングス株式会社 テクノロジー本部 マテリアル応用技術センター 主任研究員

2014年に東京理科大学物理学卒業後、東京大学大学院へ進学し、物性研究所松田研究室に所属。2016年に修士課程を修了し、現パナソニックホールディングス(株)へ入社。2018年まで燃料電池開発に携わり、現在、車載用リチウムイオン全固体電池開発に従事。



講演2 13:25-13:45

素粒子の世界に戻ってきた！

ものは究極的に何からできているのかへの興味から、衝突型加速器を使った素粒子実験の世界へ飛び込みました。各国から何百・何千と人の集まる大型の国際実験で、粒子同士をぶつけて素粒子の世界を探ります。学生時代はドイツに、その後はスイスに滞在して研究生活を送りました。さまざまなバックグラウンドの人たちと研究で繋がる楽しさがありますが、一方で、生活設計では悩みました。今は育児と研究の両立にあたふたしています。これまでの経験を紹介できればと思います。

しみず しま
清水 志真

高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 助教

神奈川県出身。2009年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。CERN研究所、名古屋大学、神戸大学を経て専業主婦に。学術振興会 RPD 特別研究員として理化学研究所にて研究復帰。昨年より現職。専門は素粒子物理学実験。



質疑応答(講演1, 2) 13:45-14:05

休憩 14:05-14:30

講演3 14:30-14:50

目に見えないミクロの世界に魅せられて

物質を細かく見ていくと、原子・分子、原子核、クオークなどの世界へとつながっていきます。これらは目に見えない粒子です。しかし、これらの粒子の基礎的な運動を、数学的に解き明かすことができます。このことが不思議で、原子核物理の理論の世界へ入っていききました。どうして私がこの世界に入ったのか、何故研究者を目指したのかということをお話を通して紹介したいと思います。

ひやま えみこ
肥山 詠美子

東北大学理学研究科 教授 / 理化学研究所仁科加速器科学研究センター室長

高エネルギー加速器研究機構助手、奈良女子大学理学部助教授、九州大学大学院理学研究院 物理学部門教授を経て現在、東北大学大学院理学研究科物理学専攻教授、理化学研究所仁科加速器科学研究センター室長も兼任。



講演4 14:50-15:10

理研小型中性子源システムRANSプロジェクトの設立から今日まで—女性PIだから？—

これまで存在しなかった中性子線を手軽に現場利用可能なシステム開発に 2011 年より従事。「いつでも、どこでも中性子利用」を目指した開発は 2023 年度現在、理研小型中性子源システム (RIKEN Accelerator-driven compact Neutron Systems, RANS. 以下、RANS) プロジェクトとして 3 台の中性子計測システムが独立に稼働中であり、さらに高速道路や橋梁現場で非破壊計測を可能とする可搬型中性子源システム RANS-III の開発が進んでいます。世界初の装置開発の実現を中心に紹介します。

おおたけ よしえ
大竹 淑恵理化学研究所光量子工学研究センター 中性子ビーム技術開発チーム チームリーダー
ニュートロン次世代システム技術研究組合 T-RANS(国交大臣認可) 理事長
日本中性子科学会 会長

1989年早稲田大学大学院理工学研究科 理学博士取得(素粒子・原子核理論)同年国立茨城高専 助手、講師。1993年京都大学素粒子物性研究室研究員、1995年フランス、ラウエランジュバン研究所研究員、1996年理化学研究所 Spring8 研究員、2013年同研究所中性子ビーム技術開発チームリーダー。2020年ニュートロン次世代システム技術研究組合理事長。2022年日本中性子科学会賞受賞、2023年4月より日本中性子科学会会長。



質疑応答(講演3, 4) 15:10-15:30

閉会挨拶 15:30-15:35

希望者はその後の質問会にもご参加下さい

休憩 15:35-15:45

質問会 15:45-16:15

自由交流時間 16:15-16:45

完全終了 17:00